

22 地域特性を生かした都市空間の形成			
主管課名	都市整備部 街づくり事業課		
主管課長名	加藤 舞	電話番号	042-481-7401
関係課名 (組織順)	産業振興課, 下水道課, 都市計画課, 住宅課, 道路管理課, 交通対策課		
目的	対象	市内全域	
	意図	地域特性を踏まえ、多様な機能が調和し、人々が集い、活気とにぎわい、うるおいとやすらぎがある京王線の地下化に伴う調布のまちの都市構造の大きな変貌を契機とした南北一体のまちづくりを前進させるため、駅前広場や鉄道敷地周辺への都市機能の集積や、ゆとりある空間の確保により、魅力ある中心市街地を形成するとともに、地域の特性を生かした質の高い都市空間を形成します。	
施策の方向			

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和3年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
<p>(22-1 魅力的な中心市街地の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場について、市民参加を實踐して決定・公表した調布駅前広場整備計画図に基づき、令和3年度はオープンハウスなどを実施しながら、イベント空間の活用や自転車利用におけるルールの検討など、令和4年度以降の着実な工事の実施に向けた設計等の取組を進めた。 鉄道敷地整備について、貴重な都市空間を有効に活用した市民交流やにぎわいの創出を図るため、調布・布田・国領の各駅前広場をつなぐ緑道空間や生活道路等の整備に向けた測量設計を進めるとともに、国領駅西側の事業用地の取得を進めた。 中心市街地における回遊性の向上を図るため、調布駅前広場南側の区画道路の設計を進めた。 調布駅南口中央地区では、老朽化した建物の更新にあわせて、商業・業務地区にふさわしい土地の有効・高度利用を図るため、令和3年4月に、住民発意のまちづくり協議会から市街地再開発事業準備組合設立へ発展的に移行したことから、協議会支援を引き継ぎ、準備組合による事業検討支援を継続した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の推進体制として、副市長をトップとする市内関連部長会議等により関係部署が連携しながら、令和6年度の鉄道敷地整備完了及び令和7年度の調布駅前広場整備完了に向けて協議・調整を図った。併せて、次長・課長級で構成する連絡調整会議において、各事業における具体的な協議・調整を進めた。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都内でも有数の規模を誇る調布駅前広場について、道路としての交通結節機能だけでなく、環境空間としての広場機能の充実を図る計画とすることで、京王線の地下化を契機としたまちづくりの事業効果を更に高めていく。
<p>(22-2 駅周辺におけるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各駅周辺のまちづくりを推進するため、つつじヶ丘駅南側の調布3・4・21号線や調布3・4・26号線（布田駅～旧甲州街道）、調布3・4・28号線（蓮慶寺の通り）の整備に必要な用地の取得や、電線共同溝工事等を行った。 東部地区については、踏切道改良促進法の改正に伴い、道路管理者である市と鉄道事業者である京王電鉄株式会社との協議を経て、「改良すべき踏切道」の指定に関して、国に申し出を行い、令和3年4月に仙川駅から国領駅間の5箇所踏切が「改良すべき踏切道」に指定された。これを受け、東部地区における将来的なまちづくりの展望の下、連続立体交差事業を視野に入れた交通環境の改善に向けた検討を進めた。 各地域の特性を生かした駅周辺のまちづくりを推進するため、西調布駅周辺、京王多摩川駅周辺、つつじヶ丘・柴崎駅周辺地区において、地域住民の合意形成を図りながら、地区計画制度を活用したまちづくりの検討や（仮称）まちづくり総合計画の策定検討に取り組んだ。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 東部地区における交通環境の改善について、都市整備対策協議会で地区の状況や今後の取組の情報共有、連携調整はもとより、国土交通省、東京都及び京王電鉄(株)とも連携しながら、令和4年度からの連続立体交差事業を視野に入れた交通環境の改善に関する調査に向けて協議・調整を進めた。

(22-3 深大寺地区におけるまちづくり)

自然環境と調和した歴史的な風情を感じさせる深大寺周辺の街なみ景観の維持・向上や、歩行者が安全に安心して地区内を回遊できる環境の整備を推進するため、予定していた参道等の美装化の取組を見送り、深大寺白鳳院の建設に伴う周辺環境整備に向け、深大寺や関係機関等との協議・調整、対応検討を進めた。

①横断的連携による施策の推進

■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」

深大寺地区におけるまちづくりについて、神代植物公園を管理している東京都や地域と連携を図り、深大寺地域の回遊性の向上や街なみ・景観に配慮したまちづくりを推進した。

<令和3年度における施策の成果についての総括>

- ・調布駅前広場について、長年にわたり市民参加の実践を重ねながら、令和2年度末に決定・公表した調布駅前広場整備計画図に基づき、令和3年度は、オープンハウスなどを実施しながら、令和4年度以降の工事に向けた設計等を進めるなど、令和7年度の整備完了に向けて、着実に取組を推進した。併せて、調布駅前広場における自転車の通行やイベント空間の利用などについても、アンケートを実施しながら広場空間の活用における諸課題の検討を進めた。
- ・鉄道敷地整備について、調布・布田・国領の各駅前広場をつなぐ緑道空間や生活道路等の整備に向けた測量設計を進め、令和6年度の整備完了を目指し、中心市街地における環境との調和を象徴する貴重な都市空間の形成に向け取組を進めた。
- ・各駅周辺のまちづくりにおいて、市民生活を支える重要な都市基盤である都市計画道路について、必要な用地取得や測量など、計画に位置付けた各路線の着実な整備に向けた取組を推進した。
- ・つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺の5箇所の踏切対策や、京王線と調布3・4・9号線の交差部である清水架道橋の安全確保など、東部地区における交通環境の改善に向けた国等との協議・調整を重ねたことで、改正踏切道改良促進法に基づく「改良すべき踏切道」の指定を受けることができた。これを受け、国や東京都、京王電鉄(株)との協議・調整を図りながら、連続立体交差事業を視野に入れた交通環境改善の取組を推進した。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値			目標値	達成状況*
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
1 中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	67.8 (H30)	%	67.1	68.1	68.3	80.0	○
2 駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	67.0 (H30)	%	69.7	70.9	71.1	80.0	○
3 深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	89.0 (H30)	%	89.6	89.6	88.2	90.0	▼
【特記事項】							

※R3年度の達成状況は、以下の区分により記号を記入

- ◎：目標値を達成
- ：前年度より向上した
- ▼：前年度より低下した
- ：前年度と同じ
- ：数値未把握（調査未実施など）

◆まちづくり指標の目標達成見込み（令和4年度見込みを含めた現基本計画期間における達成度）

- ・達成見込みを次の区分により記号を記入
 - ◎：「目標値達成に向け順調に推移」
 - ：「目標値達成は現状難しいが、前年度より向上する見込み」
 - △：「目標値達成は現状難しく、前年度と同等又は悪化する見込み」

まちづくり指標	達成見込み	要因・課題 (目標達成・未達成の要因・次期基本計画に向けた課題等)
1 中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合 (目標値：80.0% 現状値：68.3%)	○	調布駅付近の京王線の地下化と連動する都市基盤整備は、令和6年度の鉄道敷地整備、令和7年度の調布駅前広場の完成により、ハード面での中心市街地の街づくりが節目を迎える。これらの整備を着実に推進していく中で、ソフト面とも相まった中心市街地におけるまちの魅力向上に取り組んでいく必要がある。
2 駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合 (目標値：80.0% 現状値：71.1%)	○	地区の特性に応じた各駅周辺のまちづくりの取組を継続して推進していく中で、東部地区における交通環境の改善について、国や東京都等の調整を図りつつ、沿線まちづくりの機運を高めながら取組を進めていく必要がある。
3 深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合 (目標値：90.0% 現状値：88.2%)	○	目標値には達しないものの平成28年度以降一貫して80%台の高い値で推移している。引き続き、歩行者の安全確保の取組を優先しつつ、回遊性の向上や街なみ景観の維持向上を図る必要がある。

2 令和3年度の振り返り — 評価 (CHECK)

◆施策の成果向上に向けて、令和3年度に実施した取組に対する評価 ※コロナ禍を踏まえたプロセス、実績、成果の総合評価

総合評価	A	<p>S：「実施した取組において顕著な成果が得られた。」</p> <p>A：「実施した取組において予定した成果が得られた。」</p> <p>B：「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」</p> <p>C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」</p> <p>D：「実施した取組において成果が得られなかった。」</p>
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・調布駅前広場、鉄道敷地及び区画道路の各事業について、計画に位置付けた用地取得や測量、設計などを着実に推進し、中心市街地における交通の円滑化やまちの活性化に寄与したため。 ・調布駅前広場については、コロナ禍の中で、オープンハウスやアンケートなど、イベント空間の活用や自転車利用におけるルールの検討など、市民参加手法を工夫しながら、令和4年度以降の整備に向けた着実な取組を推進した。 ・新型コロナウイルスの影響に伴う会議の中止等、街づくり協議会・準備会、再開発準備組合の活動が制限された中でも、開催時期・方法を工夫し、まちづくりの検討を進めることができたため。 	

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む）における施策の取組状況

・左欄と右欄において、丸数字で対になるよう記載

計画どおり・計画より進んだ取組等 (現基本計画で予定した成果が十分得られる)	今後の取組の方向 ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
<p>①調布駅周辺を取り巻く環境の変化や広範な市民の意見を踏まえ調布駅前広場整備計画図を取りまとめた。</p> <p>②鉄道敷地への公共施設2箇所、駐輪場5箇所の整備が完了し、公園1箇所の整備を行うとともに、緑道の用地取得を進めた。</p>	<p>①調布駅前広場整備計画図に基づき、令和7年度の整備完了に向け、着実な取組を推進していく。</p> <p>②鉄道敷地整備計画に基づき、令和6年度の整備完了に向け、着実な取組を推進していく。</p>
計画より遅れた取組等 (現基本計画で予定した成果が得られない)	遅れの理由や次期基本計画に向けた対応課題等 ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
<p>①深大寺白鳳院の建設に伴う周辺環境整備の検討が必要となったことから、計画に位置付けていた参道等の美装化の取組を見送った。</p>	<p>①安全な歩行者動線の確保に向けて、深大寺通り（主要市道5号線）の設計等に取り組みとともに地元と協議・調整を図り、丁寧に取組を進めていく。</p>

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）における施策の成果についての総括

<p>■調布駅前広場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京王線の地下化の実現以降、調布駅の乗降客数の増加やイベント開催等を通じた市民や駅利用者の安全な歩行者動線の確保など、調布駅周辺を取り巻く環境の変化や広範な市民の意見を踏まえ、令和7年度完成を前提に、南側ロータリーの一部を修正する市の方針を定め、調布駅前広場整備計画図を取りまとめた。 ・調布駅前広場整備計画図に基づき、オープンハウスやアンケート調査、社会実験などを実施しながら、自転車利用のルールやイベント空間の利用など、交通結節機能はもとより、市民交流やまちのにぎわいをもたらすソフト面の取組の検討と併せ、令和7年度の整備完了に向けた着実な取組を推進した。 <p>■鉄道敷地の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布・布田・国領の3駅の各駅前広場の空間とも相まって、中心市街地における環境との調和を象徴する貴重な空間である鉄道敷地については、令和6年度末の完成に向け、これまで公共施設、自転車駐輪場及び都市公園等の整備を段階的に進めてきており、残る整備箇所は、これらの施設や3駅の各駅前広場をつなぐ緑道空間となっている。 ・これまで整備を進めてきた各施設については、各整備テーマに合わせた調布の地域資源を活用した調布らしさが体感できるよう、各ゾーンの仕上げの施しや、各スポットに市民や来訪者が立ち寄りたくなるような仕掛けづくりを検討していく中で、誰もが憩い、楽しめる空間整備に取り組んでいく。 <p>■東部地区における交通環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地区においては、つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺における5箇所の踏切対策や、京王線と調布3・4・9号線の交差点部である清水架道橋の安全確保など、交通環境の改善に向けた取組が課題となっている。こうした状況において、国等との協議・調整を重ねてきた中で、改正踏切道改良促進法に基づく「改良すべき踏切道」の指定を受けることができた。これを受け、国や東京都、京王電鉄との協議・調整を図りながら、連続立体交差事業を視野に入れた交通環境改善の取組を推進した。 <p>■深大寺地区におけるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深大寺地区においては、街なみ環境整備事業として散策路の改修（市道北136号線等）や公共サイン案内板の設置（5箇所）を進めるとともに、深大寺白鳳院の建設に伴う周辺環境整備に向けて取り組んだ。 	
評価	<p>【評価区分】</p> <p>現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）に対する進捗状況について、S～Dの5段階で評価</p> <p>S：「計画以上に進捗した。予定以上の取組成果が得られた。」</p> <p>A：「計画どおりに進捗した。予定した取組成果が得られた。」</p> <p>B：「概ね計画どおりに進捗した。一定の取組成果が得られた。」</p> <p>C：「進捗にやや遅れがみられた。あまり取組成果が得られなかった。」</p> <p>D：「進捗に大きな遅れがみられた。ほとんど取組成果が得られなかった。」</p>

3 次期総合計画期間を含む中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

◆施策を取り巻く状況【A】（国，東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※次期基本計画における重要な視点となる「デジタルトランスフォーメーション (DX)・スマートシティ」, 「カーボンニュートラル」, 「産学官連携」のほか, 施策横断的なテーマである「共生社会の充実 (パラハート)」, 「安全・安心 (防災・減災・防犯・感染症対策)」, 「ソフト・ハードが一体となったまちづくり (中心市街地整備, 地域別まちづくり, 都市計画道路整備)」に関する状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	①令和2年度の道路法改正により, 賑わいのある道路空間を構築するための道路の指定制度が創設された。歩行者利便増進道路 (ほこみち) として指定した道路では, 歩行者が安心・快適に通行・滞留できる空間の構築を可能とする規定が盛り込まれた。 ②令和2年度の踏切道改良促進法の改正により, 指定・改良期間の撤廃や市町村による指定の申し出が可能となった。 これにより, 連続立体交差事業など長期間を要する対策を推進しやすくなった。	①調布駅前広場及び鉄道敷地の整備については, にぎわいや交流を創出し, 調布のまちの魅力を高めていくため, これまで長年の課題であった, 道路法に基づく道路での利活用や運用ルールについて, 新しい制度を積極的に活用しながら, 課題解決に向けて取り組む。 ②東部地区の抜本的な踏切対策として, 調布市内の5箇所の踏切道 (仙川駅~国領駅間) が, 改正踏切道改良促進法に基づく「改良すべき踏切道」に指定された。このため, 今後, 改良方法を検討・確定し, 改良計画を国土交通省へ提出していく。(提出期限: R8.3.31) また, その後の具体的な対策事業の実施に向けて関係機関との調整を進めていく。
東京都や近隣自治体の動向等		
その他		

◆施策を取り巻く状況【B】（国，東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※上記の施策を取り巻く状況【A】の項目以外で, 法改正・制度改正などの状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等		
東京都や近隣自治体の動向等		
その他		

施策2 2 「地域特性を生かした都市空間の形成」に関連する基本計画事業

計画コード	70	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	駅前広場の整備			総合戦略 ●
所管部署	都市整備部 街づくり事業課 整備係			
事業概要	京王線連続立体交差事業により地下化された調布・布田・国領3駅の駅前広場を南北一体的に整備し、交通結節点としての機能を向上させる。調布・布田・国領3駅の各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間の有効活用と併せて、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある駅前広場を計画的かつ段階的に整備する。			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○調布駅前広場 ○布田駅前広場 平成26年度道路部完成 平成28年度上屋工事 平成29年度上屋完成 ○国領駅前広場 平成27年度道路部完成 平成28年度完了,上屋工事 平成29年度上屋完成 ○調布駅開口部 ○その他	○調布駅前広場 ・北側：設計 ・南側：設計 ○広場空間機能の検討	○調布駅前広場 ・駅前広場実施設計修正 ・南側広場電線共同溝詳細設計 ・南側上屋設計 ・広場口基本設計 ○広場空間機能の検討	○調布駅前広場 ・駅前広場実施設計修正 ・南側広場電線共同溝詳細設計 ・南側上屋設計 ・広場口基本設計 ○広場空間機能の検討
事業費 (千円)		441,700	119,314	93,697
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ○
説明	今年度からの調布駅前広場の工事に向けて、駅前広場の実施設計の修正のほか、南側の電線共同溝や上屋の設計、広場口の基本設計を進めた。社会実験として、自転車押し歩きのサインスタンドやアーチ型ミストを設置するとともに、オープンハウスの実施や広報誌EKIHIROタイムズ（自転車やミストに関する社会実験やオープンハウスの開催結果などの情報を掲載）発行により、市民へ情報発信を行った。			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	令和3年度に実施した調布駅前広場実施設計修正、南側広場電線共同溝詳細設計を基に、北側ロータリー車道整備、南側広場電線共同溝整備を実施するとともに、令和5年度以降に整備する広場口などの実施設計を行い、段階的に駅前広場の整備を進める。引き続き、調布駅前広場における自転車の通行に関する啓発活動及びイベント広場の活用について検討を進める。			

※新型コロナウイルスの影響に関する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策 2 2 「地域特性を生かした都市空間の形成」に関連する基本計画事業

計画コード	71	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	鉄道敷地の整備			総合戦略 ●
所管部署	都市整備部 街づくり事業課 整備係			
事業概要	京王線連続立体交差事業により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、調布・布田・国領3駅の駅前広場整備と併せ、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として、鉄道敷地の整備に取り組む。			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○鉄道敷地の整備	○鉄道敷地の整備 ・緑道 測量設計・用地取得 等	○鉄道敷地の整備 ・緑道 測量設計・用地取得 等	○鉄道敷地の整備 ・緑道 測量設計・用地取得 等
	事業費 (千円)	258,586	266,169	241,272
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0
令和3年度 取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ○
説明	調布・布田・国領の3駅をつなぐ鉄道敷地の整備に当たり、狛江通りから国領西自転車等駐車場までの用地取得を行うとともに、令和2年度に用地取得を行った鶴川街道から調布西第2路上自転車等駐車場までの区間について詳細設計を進めた。			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	「鉄道敷地整備計画」に基づき、整備区間ごとに、市民参加を実践しながら、計画的な用地取得と併せて、具体的な設計、整備を進めていく。 令和3年度に行った鶴川街道～調布西第2路上自転車等駐車場間の詳細設計をもとに、令和4年度は緑道整備を行うとともに、布田駅～調布駅及び国領駅～布田駅間について、市民参加を実践し、整備の設えを検討し、布田駅～調布駅間については次年度整備に向けて詳細設計を実施する。			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策 2 2 「地域特性を生かした都市空間の形成」に関する基本計画事業

計画コード	72	重点P		-
事務事業	面的整備手法を活用したまちづくりの促進			総合戦略 ●
所管部署	都市整備部 都市計画課 市街地整備係			
事業概要	調布駅周辺において、魅力的な中心市街地を形成するため、地区計画や市街地再開発事業などの面的整備手法を活用し、調和のとれた商業、業務、住宅施設等の立地誘導を図り、駅前拠点にふさわしい市街地形成を図る。			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○調布駅北第1A地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅北第1B地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅南口東地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅南口中央地区の基礎調査	○調布7・5・1号線の整備・道路整備 ○調布駅南口中央地区の検討	○調布7・5・1号線の整備・設計	○調布駅南口中央地区の検討 ○調布駅南口中央地区市街地再開発準備組合の支援
	事業費 (千円)	91,410	7,920	500
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0
令和3年度取組実績	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ○
説明	<p>調布駅周辺の市街地再開発事業に関連する道路整備として、平成29年度から調布7・5・1号線の整備を進めているところであり、令和3年度は東京都と無電柱化実施の可否について協議を行った。また、調布駅南口中央地区については、老朽化した建物の更新に合わせて、活気とにぎわいのある商業・業務地区の形成に向け、令和3年4月に、市街地再開発準備組合が設立され、準備組合が進める市街地再開発事業の手法による街づくりの実現を目指す検討に対しての活動支援を行った。</p>			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>調布都市計画道路7・5・1号線(都道119号)と市道南20号線の整備等について、計画的に取組を進めていくとともに、回遊性向上につなげていく。また、令和4年度は、東京都等の関係者との協議を進め、道路整備に向けて、埋設企業者と調整しながら、道路詳細設計を実施する。また、調布駅南口中央地区については、引き続き再開発準備組合に対する活動支援を行い、都市計画決定に向けた取組を進める。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策 2 2 「地域特性を生かした都市空間の形成」に関する基本計画事業

計画コード	73	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	中心市街地における区画道路等の整備			総合戦略 ●
所管部署	都市整備部 街づくり事業課 整備係			
事業概要	京王線連続立体交差事業による効果を最大限発現するため、駅前広場や鉄道敷地の整備と併せ、各駅周辺の区画道路や生活道路等を整備し、安全で快適な道路ネットワークを形成し、中心市街地の回遊性の向上を図る。			
【PLAN▶DO▶CHECK】				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○調布区画1号 ○調布区画2号 ○調布区画3号 ○調布区画7号 ○調布区画9号 ○調布区画11号 ○調布区画12号 ○調布区画13号 ○国領歩専道1号 ○国領歩専道2号 ○国領区画街路6～8号の間 ○市道西100号線 ○その他	○調布駅周辺の区画道路等の整備 ・調布区画道路2号 ・調布区画道路3号 ・調布区画道路11号 ・調布区画道路12号	○調布駅周辺の区画道路等の整備(設計・測量等) ・調布区画道路2号 ・調布区画道路3号 ・調布区画道路12号	○調布駅周辺の区画道路等の整備(設計・測量等) ・調布区画道路2号
	事業費 (千円)	727,747	10,532	4,091
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ○
説明	調布駅前広場の設計にあわせて、駅前広場と接続する調布区画道路2号の道路詳細設計を実施した。			
				
【ACTION】				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	今後も引き続き、計画的に区画道路等の整備を進めることで、安全で快適な歩行者ネットワークを形成し、中心市街地における回遊性の向上につなげていく。 令和4年度は、調布区画道路3号及び調布区画道路11、12、13号の設計を実施する。			

※新型コロナウイルスの影響に関する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策 2 2 「地域特性を生かした都市空間の形成」に関連する基本計画事業

計画コード	74	重点P		-
事務事業	交通環境の改善による駅周辺のまちづくり			総合戦略 ●
所管部署	都市整備部 都市計画課 市街地整備係			
事業概要	<p>柴崎駅周辺については、駅周辺における利便性や安全性の確保など、交通環境の改善に向け、都市計画道路の整備など、まちの将来像を見据えた中・長期的な視点から、住民参加によるまちづくりを進める。 つつじヶ丘駅周辺については、都市計画道路の整備を含めた総合的な視点からまちづくりを進める。 西調布駅周辺については、快適な市街地整備に向け、駅南側の都市計画道路の整備を見据え、地区の特性に応じたまちづくりを進める。</p>			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○駅周辺におけるまちづくり	○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅) ○交通環境改善に向けた検討(西調布・つつじヶ丘駅)	○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅・つつじヶ丘駅) ○交通環境改善に向けた検討(西調布駅) ※事業費はいずれもNo67(地区計画制度を活用したまちづくり)に包含	○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅・つつじヶ丘駅) ○交通環境改善に向けた検討(西調布駅) ※事業費はいずれもNo67(地区計画制度を活用したまちづくり)に包含
事業費 (千円)	5,000	0	0	
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ○
説明	つつじヶ丘駅及び柴崎駅周辺地区については、上位計画である都市計画マスタープランを踏まえ、両駅周辺の地域住民のまちづくりの機運醸成を図り、地域の特性を生かしたまちづくりの推進に向け、現状と課題を整理するとともに、まちづくりの方向についての検討を行った。 西調布駅については、駅南側の都市計画道路の整備を見据え、現況等の再整備や地区整備計画の方向についての検討を行った。			
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区(東部地区)においては、開かずの踏切が存在していることや、清水架道橋における安全対策、神代出張所移転など、地域の課題解決に向けて取り組む必要が高まっていることから、引き続き地元の街づくり準備会や商店会と連携し、地元街づくりの機運を高めながら、地域におけるまちづくりの取組を進める中で、交通環境の抜本的改善の検討について進めていく。 西調布駅周辺については、駅南側の都市計画道路の整備を見据え、地区の特性に応じたまちづくりの検討を進める。			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策 2 2 「地域特性を生かした都市空間の形成」に関連する基本計画事業

計画コード	75	重点P	⑤	人と自然が共生するうおいのあるまち
事務事業	深大寺地区におけるまちづくりの推進			総合戦略 ●
所管部署	都市整備部 都市計画課 市街地整備係			
事業概要	<p>深大寺地区は、「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づいて設定された深大寺通り街づくり協議会が、調布市初となる街づくり協定である「深大寺通り周辺地区街づくり協定」を締結するなど、活発な街づくり活動が行われている地域である。</p> <p>地区の緑の保全方策や都市計画道路（調布3・4・30号線）の在り方等について検討を進める。</p> <p>調布市深大寺地区街なみ整備基本計画（平成24年度策定）に基づき、歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど、深大寺地区の魅力向上に取り組む。</p>			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和3年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
	○深大寺地区におけるまちづくりの推進	○街なみ環境整備事業の実施 ・街なみ整備助成事業 ・道路の美装化 ○深大寺地区の街づくり検討	○街なみ環境整備事業の実施 ・街なみ整備助成事業 ・道路の美装化（測量・設計） ○深大寺地区の街づくり検討	○白鳳院建設に伴う安全な歩行動線の確保などの周辺環境整備の検討
	事業費（千円）	7,600	9,903	0
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ○
説明	<p>調布市深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき、歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら、風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど魅力向上に取り組んできた中で、令和3年度は、深大寺白鳳院の建設に伴う周辺環境整備（深大寺通り横断歩道設置）の検討が必要となったため、当初予定していた参道等の美装化取組を見送り、深大寺や関係機関等との協議・調整、対応検討を進めた。</p>			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>深大寺周辺地区については、白鳳院建設に伴い周辺環境整備の必要があり、深大寺通りの横断歩道設置を検討している。令和4年度は詳細設計、令和5年度は工事を予定している。また、令和3年度に見送った参道等の美装化等、深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき地域と連携した深大寺地区の魅力向上に取り組んでいく。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。